

# 職員インタビュー 『県のシゴト、私のユメ』

## 薬剤師

行政薬剤師として、  
県民の方々の健康な生活の役に立ちたい



**林 真由香**

保健環境研究所

H21年 採用 県立多治見病院  
H22年 薬務水道課  
H24年 生活衛生課  
H27年 岐阜保健所本棟・山県センター  
H30年 農産園芸課  
R 3年 現所属

### 入庁前と入庁後のギャップはありましたか

入庁前は、庁内で黙々と仕事をするイメージでしたが、実際には人と関わる機会が多い仕事だと感じました。職場では医師、獣医師、行政職など様々な職種と連携して業務を進めていますし、来庁者や関係先の方とコミュニケーションをとる機会も大変多いです。

### 現在の仕事内容を教えてください

医薬品・家庭用品の安全性確保と衛生害虫に関する検査・研究業務を担当する部署に所属しています。その中で、医薬品等公的試験検査機関の業務や、家庭用品に含まれる有害物質の検査、衛生害虫や特定外来生物の同定検査等、年間を通じて様々な業務に従事しています。

### 仕事とプライベートをどのように両立されていますか

育児休業からの復帰後、部分休業の制度を利用して勤務時間を短縮しています。業務は部署内でスケジュールを調整してから進めているので、上司や同僚からのサポートが得やすく、プライベートと両立しやすい環境です。

### 今後実現したい夢はなんですか

行政薬剤師として、県民の方々の健康な生活の役に立ちたいです。今までに薬事、食品、研究など色々な業務を担当してきました。これからも、担当業務に真面目に取り組み新しい知識、技能を身につけていきたいです。

## 管理栄養士

食を通じた健康づくりに取り組む県民を  
一人でも増やすことが私の夢です



**井藤 由唯**

恵那保健所

H31年 採用 可茂保健所  
R 3年 現所属

### 岐阜県庁を志望された動機を教えてください

スポーツ栄養学に興味があり、大学では栄養学を学びました。学びを進める中で、個人はもちろん広く地域の方々を対象とできる公衆栄養の重要性を実感し、管理栄養士として地元である岐阜県に関わりたいと思い、この仕事を志望しました。

### 現在の仕事内容を教えてください

恵那保健所の健康増進課に所属し、集団給食施設における栄養管理向上のための個別指導や研修会の開催、栄養成分表示等の食品表示の相談対応や監視指導を行っています。また、県民の野菜摂取目標量350gを達成するため推進している「清流の国ぎふ」野菜ファーストプロジェクトでは、企業等と協働してイベントを開催し啓発を行っています。

### 働く環境についてはどう思われますか

入庁してからの経験が浅く、未だに分からないことや判断に困ることがありますが、上司や先輩には気軽に相談できる環境であり、アドバイスをいただきながら対応できています。また、保健所は多職種が集まり、県民の健康づくりをサポートするために多種多様な取り組みが行われており、自分がその一端を担っていると実感できる職場です。

### 今後実現したい夢はなんですか

県では「野菜ファースト」をキーワードに「清流の国ぎふ」野菜ファーストプロジェクトを推進しています。その存在を広く知ってもらい、いつもの食事にプラス野菜1皿食べるなどして食を通じた健康づくりに取り組む県民を一人でも増やすことが私の夢です。実現のための効果的な取組みを展開していけるよう多くの経験や知識を積んでいきたいです。

## 保健師

専門的知見を持って業務に臨み、  
県民の健康寿命が全国1位につながれば嬉しい



**小川 麻里子**

保健医療課

H20年 採用 関保健所  
H23年 教職員課  
H26年 岐阜保健所  
H30年 現所属

### 入庁前と入庁後のギャップはありましたか

入庁前は医療機関に勤務していました。生死が常に側にあり、身体的・精神的にハードでしたが、患者や家族一人一人の健康に向き合ってきました。入庁後は個人への支援から、県民といった幅広い対象者の健康の底上げのために、数年後、数十年後先の結果を予測しながら施策を考えることの難しさを目の当たりにしましたが、大変やりがいも感じました。

### 現在の仕事内容を教えてください

現在は健康増進分野に従事していますが、保健師が活動するどの分野においても保健指導が業とされており、県民の健康を保つうえで必要な事項を指し示し、法の目的とする医療や公衆衛生の普及向上を行うことが使命と感じています。県民自身が自らの健康課題を認識し、健康という自分の財産を自分で守ることができるよう仕事を進めています。

### 仕事とプライベートをどのように両立されていますか

仕事とプライベートは切っても切れない関係で、どちらも大切にしたいと思っています。両方を大切にすることが、良いバランスを保つ秘訣だと感じます。

### 今後実現したい夢はなんですか

仕事の出発点は県民であることを忘れず、県の実態に見合った施策を自信を持って行なっていくよう専門性を高め、専門的知見を持って業務に臨みたい。その結果として県民の健康寿命が全国1位につながれば嬉しいです。